

多面体日本、交差するアイデンティティの 過去、現在、未来

グローバル化はひとつではない！スペイン語・ポルトガル語圏
諸国がつくる教育研究支援在日ネットワークが始まります

2015年5月

29日(金)～31日(日)

場所：東京外国語大学

アトラグロバル プロメテウスホール

同時開催展覧会

5月22日～6月5日

「フランチェスコのサンティアゴ巡礼の道」

「フェルナン・メンデス・ピントの旅」

主催 東京外国語大学 国際社会学部・言語文化学部、東京外国語大学 日西葡国際シンポジウム実行委員会

共催 東京外国語大学社会・国際貢献情報センター

後援 アンゴラ、アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、チリ、コロンビア、コスタリカ、キューバ、エクアドル、
エル・サルバドル、スペイン、グアテマラ、ホンジュラス、モザンビーク、メキシコ、ニカラグア、パナマ、
パラグアイ、ペルー、ポルトガル、ドミニカ共和国、東ティモール、ウルグアイ、ベネズエラの各国大使館
セルバンテス文化センター東京、カモンイス言語・国際協力機構、ブラジル銀行

詳細<http://www.tufs.ac.jp/ts2/personal/SimposioSP/index.JP.html>



東京外国語大学 〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

TEL: 042-330-5150 Email: soumu-koho@tufs.ac.jp

◆ JR中央線「武蔵境」駅～西武多摩川線「多磨」駅下車徒歩5分

◆ 京王線「飛田給」駅北口 - 多磨駅行京王バス10分

プログラム

基調報告

5月30日(土)

10:00～12:00

ジョセフA.レヴィー (ワシントン大学)

過去と未来の言語: 新たなミレニアムにおけるポルトガル語・スペイン語学習のさらなる重要性

ハリエット・ズルンドルファー (ライデン大学)

接触と共存: ポルトガルと明朝中国 (1511-1610) – グローカルな時代の関係性のダイナミズム

ヘルマン・グリヨン (アムステルダム大学)

スペイン語圏文学における人種混交、国境、移民

13:30～16:00

越境する歴史叙述

プロメテウスホール

- アナ・パウラ・ラボリーニョ (ポルトガル カモンイス言語・国際協力機構総裁): フェルナン・メンデス・ピントと日本

- アントニオ・ヒル・デ・カラスコ (在日セルバントス文化センター代表): アル・アンダルスの文化的貢献: アンダルシアの詩

- ロジェリオ・デゼム (大阪大学): '黄色'のスペクトラム: ブラジルにおける日本人像の形成 (1878-1908)

多文化主義教育の課題と未来

プロジェクトスペース(3F)

- アンジェロ・イシ (武蔵大学): 日本における日系ブラジル人のメディアと文学

- ルイザ・マルチン・ローホ (マドリッド自治大学): 現代社会における多言語主義と多文化主義

- テレサ・アグアード・オディナ (国立通信教育大学、スペイン): 社会的公平と正義を促進する多文化主義教育: 教育実践と教員養成

相克するアイデンティティと宗教

研究講義棟102教室

- ベビオ・ヴィエイラ・アマーロ (東京大学): キリシタン時代の長崎港: その再評価

- カルラ・トゥーロヌ (ロンドン大学): 16～17世紀における長崎の聖なる空間と宗教

- 蔣薇 (キングス・カレッジ): 競合する布教活動 – 17世紀における中国式典礼と日本

5月31日(日)

10:00～12:30

越境する歴史叙述

プロメテウスホール

- 中島楽章 (九州大学): 16世紀中葉東アジア海域におけるポルトガル民間商人と中国人密売者の相互関係

- マリア・ベトルッチ (ブリティッシュコロンビア大学): 南九州倭寇とヨーロッパ人の連携

- マヌエル・ロバート (熱帯研究所, ポルトガル): チモールにおけるTopasses: 「黒い」ポルトガル人と「白い」ポルトガル人

- マリア・デ・エスパーダ (ミーニョ大学, ポルトガル) - ジャワにおけるポルトガル人子孫のコミュニティ: フレイ・フェレイラ・デ・アルメイダのパタヴィア滞在記録

多文化主義教育の課題と未来

プロジェクトスペース(3F)

- 住田育法 (京都外国語大学): 京都におけるポルトガル語教育 – 南蛮時代から出稼ぎ期の終了まで

- 和佐敦子 (関西外国語大学): 日本のスペイン語教育における異文化的観点: 現実と願望の間で

- イサベル・サンチェス・ロベス (ハエン大学、スペイン): 危険なスペイン語: 曖昧な表現を防ぐ – 事例研究 –

- トーマス・トルートウラー (エアフィット大学, コロンビア): 第二言語習得: 状況に適応した成功例

奴隷制と日本人のディアスポラ

研究講義棟102教室

- マルチーニョ・ノンボ (アンゴラ共和国 カビンダ市ポリテクニコ高等技術大学) 混血・交雑化現象とグローバル化

- レオノール・セアブラ (マカオ大学): マカオ慈善院における日本人・アジア人奴隷

- マリア・デ・デウス・ベイトス・マンソ (エヴォラ大学, ポルトガル): スペイン語圏アメリカにおける日本人奴隷

- バトリシア・デ・ファリーア (連邦農村大学のリオデジャネイロ) 異端審問所の網にかかったアジア人奴隷 – インド洋とポルトガルのあいだの文化

13:30～16:00

先住民文化の現在

プロメテウスホール

- イズミ・ノザキ (マト・グロース州立大学、ブラジル): 先住民文化: 保存か近代化か? – 学校教育の役割

- ラエルシオ・ミランダ (マト・グロース州立大学、ブラジル): アマゾンにおける持続可能な発展 – ゴム採取者と先住民コミュニティの文化と生活, その展望

- ジョゼ・マヌエル・ダ・シルバ・シモンイス (サン・ジョゼ大学、マカオ): ポティグアラ先住民の祭りと記憶のトポス – 地域的伝統の始まり

越境する歴史叙述

プロジェクトスペース(3F)

- フロレンティーノ・ロダオ (コンプルテンセ大学、スペイン): フィリピン諸島と人種混交 – 19世紀における人種の問題

- ギリエルモ・オソルノ (オリゾンタル誌編集長、メキシコ): メキシコ芸術における人種混交とグローバル化

- ホベルト・ギマランエス・フランコ (ラヴラス連邦大学) ブラジルの国家アイデンティティと文学 – 理屈としての混血現象

大陸横断の商業ネットワーク

研究講義棟102教室

- 方真真 (台湾国立大学): 17世紀マニラにおける華人商人

- マヌエル・ペレス・ガルシア (中華人民大学): ローカルネットワークとグローバル空間 – 18世紀ガレオン貿易 (マニラ・アカブルコ) を中継するマカオと東南アジア

- 宮田絵津子 (立教大学): 16～17世紀マニラの陶磁器にみるガレオン船貿易の構造

- アンジェロF.デ・アシス (ヴィソーザ州立大学, ブラジル): 遠くて近い異端審問 – ヨーロッパ・アメリカ・アジアを結ぶ新キリスト教徒と人種混交 – 交易と生き残りのためのネットワーク

16:20～16:50

閉会宣言